

「Unlearn (アンラーン)」のすすめ

「Unlearn (アンラーン)」という言葉^{ことば}を聞いたことがありますか。Learn (学ぶ)^{まな} という単語^{たんご}に否定^{ひてい}を意味^{いみ}するUn^つを付^つけた、このUnlearn (アンラーン) という言葉^{ことば}、Learn^{ひてい}に否定^つのUn^つが付^ついているので「学ばない」ということと誤解^{ごかい}する方もいるかもしれませんが、そうではありません。「今まで^{いま}学^{まな}んできたことを一度^{いちど}ゼロにし、再^{ふた}び学^{まな}び直^{なお}す」という意味^{いみ}です。人間^{にんげん}は過去^{かこ}の成功^{せいこう}体験^{たいけん}や、積み重^つねてき経験^{けいけん}、その中^{なか}で培^{つちか}ってきた理論^{りろん}など、自分^{じぶん}自身^{じしん}の思考^{しこう}の枠^{わく}にハマ^ありがちですが、新^{あら}たに何か^{なに}を学^{まな}んだり、自分^{じぶん}のステージ^あをさら^あに上げよう^あとしたりするときには、このUnlearn^{ひつよう}が必要^{ひつよう}だということ^{ひつよう}です。

Unlearn^{ひつよう}が必要^{ひつよう}な状態^{じょうたい}の例^{れい}として、フィードバック^うを受けた時^{とき}というの^{おお}があります。多く^{ひと}の人^{ひと}にとつては「誰^{だれ}からのフィードバック^{じゅうよう}なのか」が重要^{じゅうよう}で、尊敬^{そんけい}している人^{ひと}、信頼^{しんらい}できる人^{ひと}からのフィードバック^うは受け入れ^いやすい一方^{いっぽう}、自分^{じぶん}より年齢^{ねんれい}が下^{した}、役職^{やくしょく}が下^{した}、自分^{じぶん}の専門^{せんもん}と全^{まった}く関係^{かんけい}のない人^{ひと}からのフィードバック^うはなかなか受け入れ^いづらい傾向^{けいこう}にあります。でも、もしかする^あと全^あく関係^{かんけい}のない人^{ひと}から受^うけるフィードバック^{じぶん}には、自分^{じぶん}には気づ^ききもしなかつた新^{あら}たな視点^{してん}がある^あかもしれません。「誰^{だれ}が言^いったか」ではなく「何^{なに}を言^いったか」にフォーカス^あする、これもUnlearn^あの^あ一つ^あの形^あです。

Unlearn^あするためのポイント^あとしては「教^{おし}えてもら^あう」という意識^{いしき}より「純^{じゆんすい}粋^{こうきしん}な好奇心^もを持って^あ学ぶ^あ」こと^あです。例^あえば、自分^あにとって嫌^{いや}なフィードバック^あを受け取^うったと^あします。その時^あに^あ一方^あ的に押し付^おけられて^あいると感^あじ反論^{はんろん}するのではな^あく「なぜこの人^あはこんなフィードバック^あをし^あたのだら^あう？」と興^あ味^あを持って^あみる、「その観^あ点^あはどこからきたのだら^あう？」と純^あ粋^あな好奇心^あを^あ持^あって捉^あえて^あみて^あはいかがで^あしょうか。

皆^あさんも、一度^あこ^あだわり^あや固執^{こしつ}を捨^あてて、新^あたな気持^{きも}ちで学^あび直^あす、そ^あして新^あたにいろ^あいろな^あも^あの^あを吸^あ収^あして^あいくと^あいう「Unlearn (アンラーン)」を意^あ識^あした生^あ活^あを心^あが^あけて^あみて^あはいかがで^あすか。